

東京シンポジウム 2016

文化遺産を考える

有形・無形の文化遺産を保護し、活用し、また、未来に継承していくための博物館の役割について、そのトップである3博物館の館長と堺市長（ミュージアムディレクター）を交えて、立体的に議論を深めていきます。

参加無料

募集：250人・要申込（先着順）
※裏面参照

2016年 **5月14日(土)** 13:30~16:30 (開場12:45)

会場：東京国立博物館 平成館大講堂 ※シンポジウムの出入りは西門からお願いします。

基調講演



中西 進

堺市博物館名誉館長・国文学者

雅楽演奏



東京楽所

雅楽はユネスコの無形文化遺産の代表一覧表に記載されています。今回は、小編成による演奏です。

パネルディスカッション

テーマ：～文化遺産と博物館の使命～



石森 秀三

北海道博物館長



須藤 健一

国立民族学博物館長



銭谷 眞美

東京国立博物館長



竹山 修身

堺市長
(堺市博物館ミュージアムディレクター)

コーディネーター：狭間 恵三子 堺市副市長

主催：堺市、国立文化財機構

後援：文化庁、国立民族学博物館、北海道博物館、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議

プログラム (予定)

◆主催者挨拶

竹山 修身 堺市長
銭谷 眞美 東京国立博物館長

◆来賓挨拶

文化庁

◆基調講演

中西 進 堺市博物館名誉館長・国文学者
演題:文化の自律性—日本の文化遺産を考える

◆パネルディスカッション

テーマ:文化遺産と博物館の使命

◎パネリスト (50音順)

石森 秀三 北海道博物館長
須藤 健一 国立民族学博物館長
銭谷 眞美 東京国立博物館長
竹山 修身 堺市長 (堺市博物館ミュージアムディレクター)

◎コーディネーター

狭間 恵三子 堺市副市長

◆雅楽演奏 (百舌鳥古墳群の映像を背景に演奏)

東京楽所

東京楽所 (とうきょうがくそ) プロフィール

<代表 多 忠輝 (おおのただあき) 氏>

1977年宮内庁式部職楽部のメンバーを主体に創設。芸術音楽としての雅楽演奏を目的として結成された高い芸術性を有する雅楽団体。

《ロビー展示》

1) アジア太平洋無形文化遺産研究センター (IRCI) の紹介

※2011年に、ユネスコが賛助するIRCIが国立文化財機構の1機関として堺市博物館内に開設され、堺市と連携した事業なども実施しています。

2) 百舌鳥・古市古墳群の紹介

東京国立博物館 平成館大講堂

(シンポジウムの出入りは西門から)
東京都台東区上野公園13-9



《交通のご案内》

- ・ JR上野駅公園口又は鶯谷駅南口下車 徒歩10分
- ・ 東京メトロ 銀座線・日比谷線上野駅、千代田線根津駅下車 徒歩15分
- ・ 京成電鉄 京成上野駅下車 徒歩15分

▶申込方法

電子メール、FAX、往復はがきのいずれかに、郵便番号、住所、申込者氏名(ふりがな)、TEL・FAX番号、同伴者氏名(1通につき2人まで)を記入の上、堺市博物館 東京シンポジウム係までお申込みください。お申込みいただいた全員の皆様に参加の可否をご連絡いたします。

4月2日(土) 受付開始・先着順250人

参加申込用紙

FAX.072-245-6263 堺市博物館 東京シンポジウム係 行

(ふりがな)		TEL
申込者氏名		FAX
住所	〒	—
(ふりがな)	(ふりがな)	
同伴者氏名	同伴者氏名	

※ご記入いただいた個人情報は、本シンポジウム運営上の目的以外には使用いたしません。

《お申込み・お問合せ先》

堺市博物館 東京シンポジウム係

〒590-0802 大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁(大仙公園内)

TEL:072-245-6201 FAX:072-245-6263

E-mail:hakugaku@city.sakai.lg.jp



堺市博物館公式キャラクター
サカイタクエルくん
©YABUUCHI Satoshi



世界文化遺産を大舞台に
百舌鳥
古市古墳群